

カスタム君からの おはなし



なごやぜいかん

名古屋税関

ぜいかん 《税関のおいたち》

ねん がっしゅうこくかんたいいどく ひき くろふね せき うらが
1853年、アメリカ合衆国艦隊提督ペリーが率いる黒船4隻が浦賀
おき らいこう よく ねん にちべいわしんじょうやく ていけつ
沖に来航し、翌1854年、「日米和親条約」が締結されました。1858
ねん がっしゅうこく おうべいしょこく
年には、アメリカ合衆国をはじめ、オランダ、ロシアなどの欧米諸国と
しゅうこうつうしょうじょうやく ていけつ よく ねん よこはま ながさき はこだて かいこう
「修好通商条約」を締結し、翌1859年に横浜、長崎、函館が開港さ
れ、その時、^{とき} ^{かもつ} ^{かんとく} ^{ぜいきん} ^{ちょうしゅう} ^{うんじょうしょ}
貨物の監督や税金の徴収をする「運上所」ができました。
うんじょうしょ めいじ ねん がつ にち なまえ あらた げんざい
この運上所が、1872(明治5)年11月28日に名前を改め、現在
ぜいかん
の「税関」となりました。

きねん がつ にち ぜいかんきねんび
〈これを記念して、11月28日を税関記念日としています。〉



なごやこうかいこうとうじ なごやぜいかん
名古屋港開港当時の名古屋税関

税関の組織

税関は、財務省に所属し、全国を9つの地域(函館、東京、横浜、名古屋、大阪、神戸、門司、長崎、沖縄地区)に分け、各税関がそれぞれの地域を受け持っています。

名古屋税関は、愛知県、岐阜県、三重県、静岡県、長野県の5つの県を受け持っています。



《 貿易と税関 》

日本は、世界の国々と取り引き(貿易)をして、石油、木材、鉄鉱石などの原料品をはじめ、果物、牛肉、魚など多くの食料品や衣料品などを輸入する一方、自動車、鉄鋼、電子部品などを外国へ輸出しています。

国土が狭く天然資源に恵まれない日本は、世界の国々と助け合いながら貿易を盛んにすることが大切です。しかし、日本の産業の保護や拳銃・麻薬などが日本に持ち込まれないようにしなければなりません。

税関は、輸出入される品物の貿易が正しく行われているかどうかを調べたり、輸入品に税金(関税、消費税など)をかけたります。また、戦争やテロの道具として使われる品物や不正薬物や拳銃などが密輸されていないか、いつも目を光らせています。

《 税関の仕事 》

【税関の三つの使命】

税関には、三つの大事な使命があります。

1つ目は、「海外からの輸入貨物にかけられる税金を正しく納めてもらうこと」です。

2つ目は、「覚醒剤、大麻などの不正薬物や拳銃などの密輸を取り締ること」です。

3つ目は、「国と国の間の貨物の動きをスムーズに行えるよう税関手続などをより便利にすること」です。

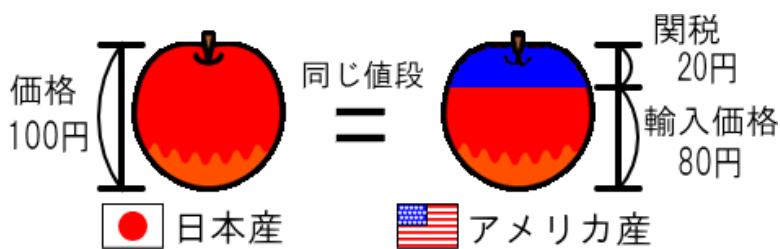


1. 税金に関すること

外国から品物を輸入する場合は、「関税」という税金を国に納める必要があります。

関税の第1の目的は、国の収入を得ることです。

また、国内で生産されたものと価格のつりあいをとるため、輸入されたものに関税をかけて、競争ができるようにします。このことは、結果として国内産業を保護することにつながります。これが関税の第2の目的です。



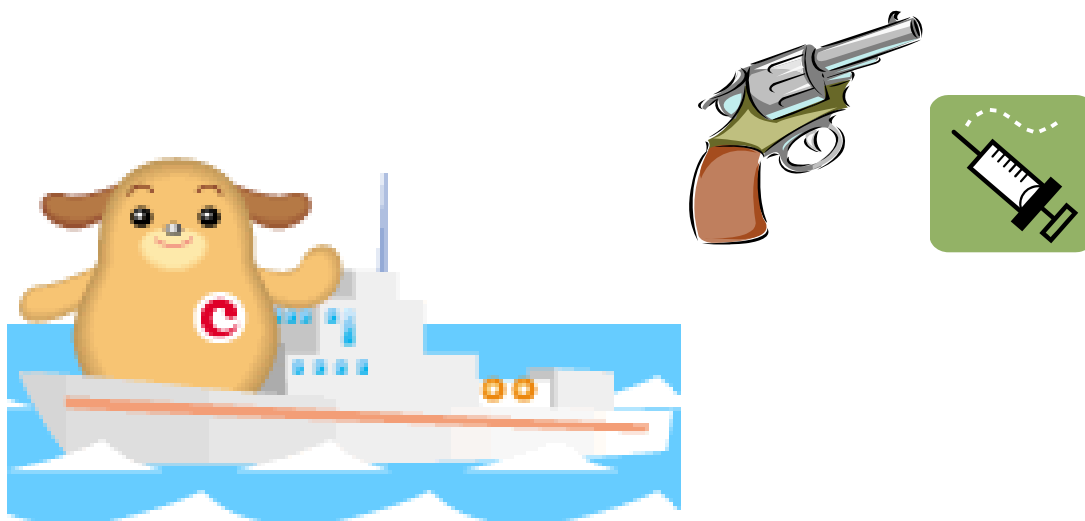
税関が、この関税などの税金の徴収を行っており、国が集める税金の約1割を集めています。

2. 密輸を取り締ること

税関の許可を受けずに貨物を輸出したり、輸入することを「密輸」といい、正しい貿易の発展を妨げています。

密輸品の中には、不正薬物のほか、拳銃や知的財産侵害物品（たとえば、偽ブランド商品）などがあります。

そこで税関は、このような違反が行われないように港や空港などで、昼も夜も監視の目を光らせています。



3. 輸出入の通関手続をより便利にすること

外国と貿易(輸出入)をするときは、税関に申告し、許可を受けなければなりません。

税関は、申告された税金の額が正しいか、また、不正なもの(たとえば、拳銃や不正薬物)が紛れこんでいないかを検査し、問題がなければ「許可」します。

この申告から許可までを「通関」といいます。

また、税関では、コンピューターを使って、輸出入の申告や、いろいろな税関の手続を行うことができます。



《名古屋税関管内の貿易額》

平成28年

輸出

16兆8,776億円(全国第1位)



(参考) 全国 70兆 358億円

・第2位 東京税関 15兆4,068億円

・第3位 横浜税関 10兆6,393億円

輸入

8兆2,765億円(全国第4位)



(参考) 全国 66兆 420億円

・第1位 東京税関 23兆2,314億円

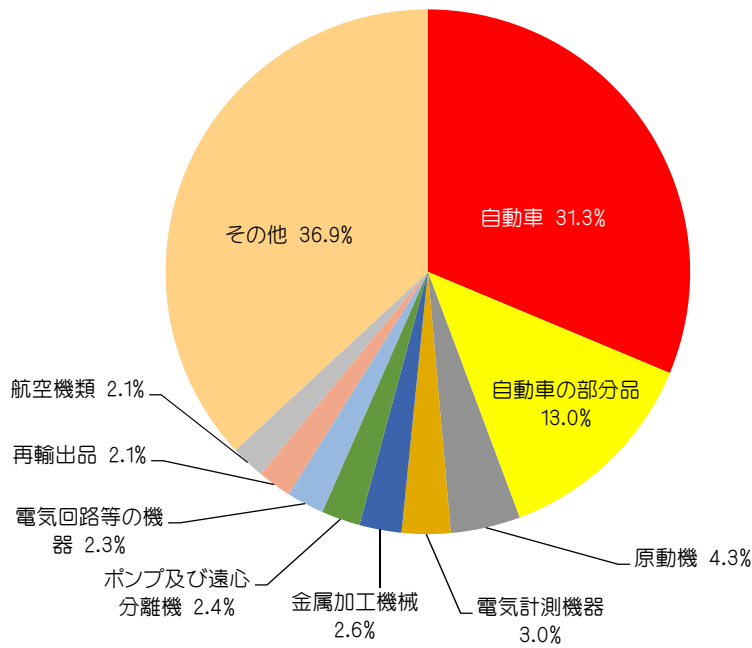
・第2位 横浜税関 10兆9,135億円

・第3位 大阪税関 9兆8,560億円

《名古屋税関管内の輸出額》

平成28年

16兆8,776億円



輸出については、自動車が多く、全国の半分近くが名古屋税関の受け持つ地域から輸出されています。

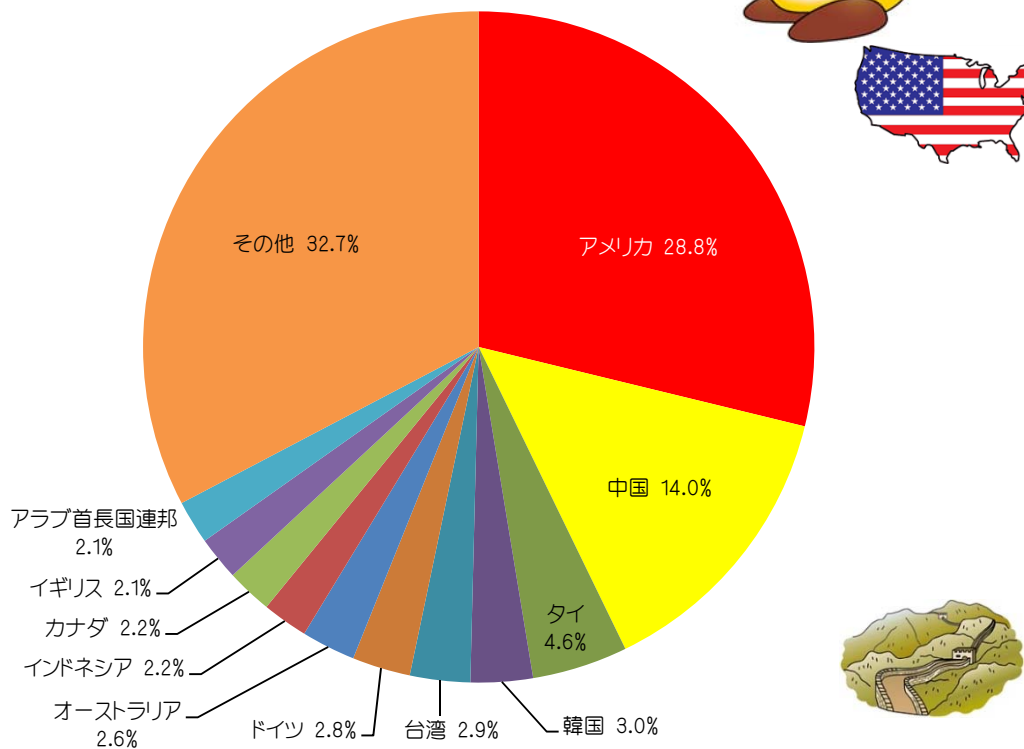


《おもな輸出の相手国》

名古屋税関管内から輸出される品物のおもな相手国（平成 28 年）

アメリカへはおもに自動車^{じどうしゃ}が、中国へはおもに自動車の部分品^{ぶぶんひん}

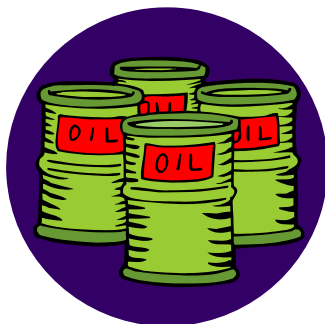
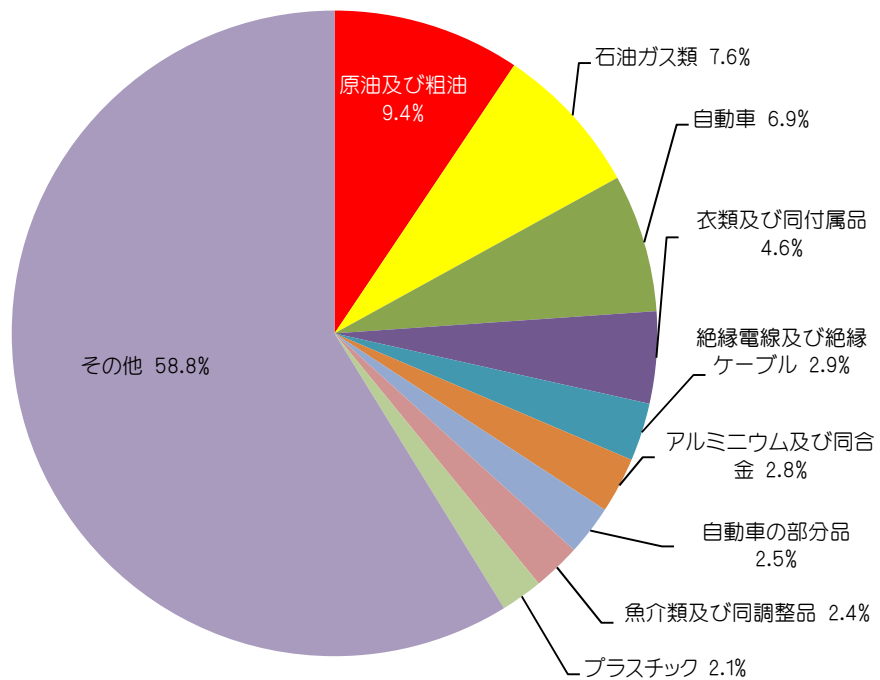
が輸出^{ゆしゅつ}されています。



《名古屋税関管内の輸入額》

（平成28年）

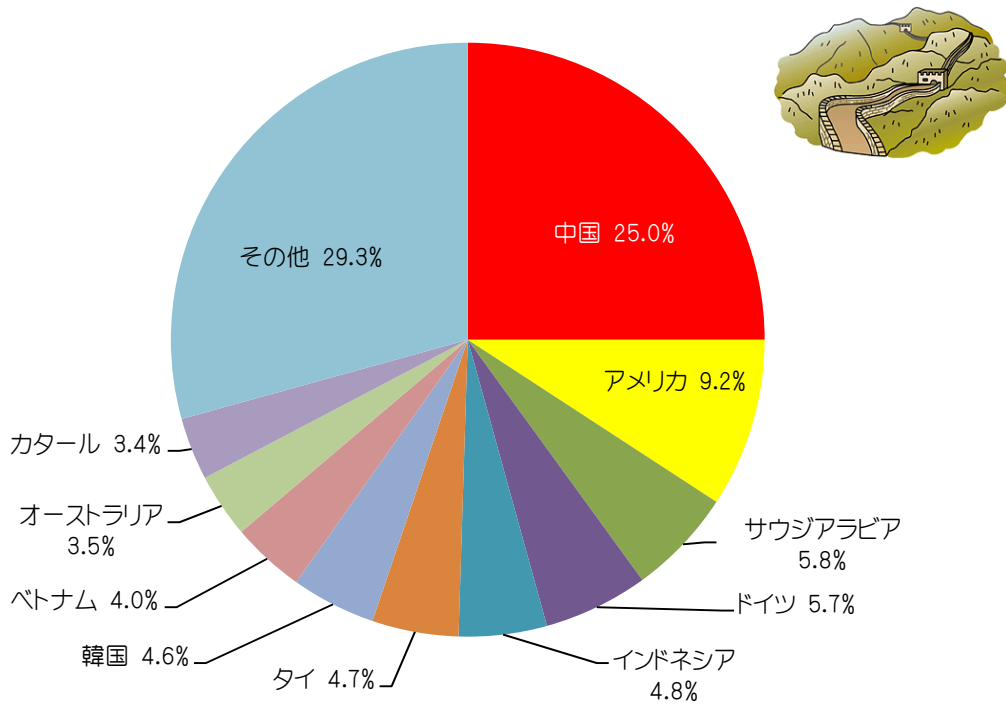
8兆2,765億円



輸入については、原油、石油ガス類などが多く、全体の約20%を占めています。

《おもな輸入の相手国》

名古屋税関管内に輸入される品物のおもな相手国（平成 28 年）



中国からはおもに衣類が、サウジアラビア・カタールからはおもに原油や石油ガス類が輸入されています



《税関で摘発した密輸品》

1. 海外旅行者による密輸入

- 覚醒剤約3.2kgをスーツケースに隠して

日本に持ち込もうとしたもの



- 大麻(大麻樹脂) 約450グラムを飲み込んで隠して日本に

持ち込もうとしたもの



2. 商業貨物による密輸入

● 覚醒剤約8kgを木製のテーブルに隠して

日本に持ち込もうとしたもの



3. 国際郵便による密輸入

● 拳銃部品である銃身1点を国際航空小包郵便に隠して日本

に持ち込もうとしたもの



4. 偽ブランド品の処分

昨年1年間(平成28年)に税関が差止めた偽ブランド品は、約62万点ありました。その多くは、バッグや衣類などが占めています。



税関で差止めた偽ブランド品は、全て燃やされて処分されることがとなります。



(焼却される偽ブランド品)